

東北教区奥羽教区へのボランティアについてのお知らせとお願い

統括主任 飯塚 拓也

「ボランティアに入りたいのだけれどもどうしたらいいのでしょうか？」という問い合わせが寄せられています。本当に感謝なことです。血の通った支援を大事にしたいと思います。

東北・奥羽へのボランティアについては、4月4～6日に東北教区と奥羽教区を訪問させていただいた際に、「ボランティアに入る際には、東北教区へは『被災者支援センター』を通して、奥羽教区へは『奥羽教区事務所』を通してほしい」という要請をいただいています。これは、両教区とも、被災支援に関してそのような体制を整えているということです。最も円滑なボランティア活動の推進のために考えられたことですので、私たちはそれに従いたいと思います。各教会に直接問い合わせをすることは、それだけでも現地の負担となることをぜひご理解ください。

そして、関東教区よりボランティアに行ってくださいの方々へ、ご希望があれば交通費を援助させていただくこととなりました。交通費援助のルールは、①東北教区奥羽教区に連絡し、その要請によって行われるボランティアに対して、②要請を受けたことを、事前に各地区長・地区委員長に連絡をしていただいて、③ボランティアの期間は2泊3日以上で、1台の自動車につき4名以上でまとまって行っていただくこと、です。

このようなルールを設けることに違和感を覚える方もいらっしゃるかもしれませんが、交通費の援助は支援募金を原資としていますので、ご理解ください。なお、このボランティアのルールは、個々人のボランティア活動を制限するものではありません。

もう1点は、皆さんのお住いの自治体の社会福祉協議会で「ボランティア保険」に加入することです。この保険は安価で、あらゆるボランティア活動のための保険であり、自宅を出るところから自宅に帰るまでをカバーします。ボランティアは「自己完結」ですので、万が一のケガなどに備えて、「ボランティア保険」に加入ください。

参考までに、ボランティアに行く際に、各自治体で、ボランティアを理由とした「災害派遣等従事車両証明」を発行してもらえます。この証明を得ると、高速道路の通行料が免除となります。自治体によってこの扱いが違うようでもあります（交通課、交通防災課等）、少なくともボランティアからの帰りは、被災地の社会福祉協議会に申し出ると証明いただけるとと思います（見本の必要な方は、飯塚拓也までお知らせください）。

東日本大震災の現地に立って

群馬・甘楽教会 諏訪部勝

群馬地区の小野團三牧師、金子健牧師、小川忠之兄、諏訪部の4名で震災現地に4月4日から3泊4日でキャンピングカーに宿泊して行ってきた。ルートは、仙台東北教区事務所→石巻栄光教会→南三陸→気仙沼→陸前高田→大船渡教会→釜石教会→南相馬ボラセン。

地震での破損は、残っている家を外から見る限りでは思ったより少なかったが、津波による被害はものすごく、テレビで見るとはまったく違って360°すべてが押し流され、海岸の街はすべて見る影もない。リアス式海岸を北上すると、少し高いところの家は数少ないが大丈夫そうだ。一方で、海岸に近づくと、すべてガレキ、この状況が延々と続く。とにかくすごい。南相馬に近づくと田んぼが泥で埋まっている。どうすれば良いのだろう。放射能汚染。米は作れるのか心配だ。

石巻で半日のワークボランティアをした。一階がドロで埋まっている。家の周りの泥除けを4人で半日かかった。住人だけでは、どうにもならない。この状況は、釜石でも、どこでも同じだ。流されてしまった家等には、今、手の出しようがないが、ドロに埋もれた家にはボランティアが長期に渡って必要だと感じた。

今後、私達は彼らの隣人として、どの様に関わるか模索していくべきだと思う。

○第2回「東日本大震災」支援委員会報告(2011.4.15)

開会の挨拶で、足田被災支援委員長は、被災地の状況は刻一刻と変化している。その時々に応じた支援を行ってゆきたいと今後の方針を語られました。なお、地震対策のために、4月18日に臨時常議員会が開催されることとなりました。

各地区の取り組みを共有いたしました。埼玉地区が、4月12-14日の日程で、大船渡教会をお訪ねし、フリーマーケットを開催してきた報告を受けました。18名が役割分担をし、近隣の避難所にチラシを配布し、焼き肉、餅つき、衣料配布、避難所での体操指導などを行ってきました。詳細は、次号のNEWSで報告します。新潟地区は、西川幸作牧師と荒井眞理牧師を釜石新生教会に派遣しました。群馬地区は、継続的にボランティアを派遣する予定です。今号のNEWSにも報告を掲載していただきました。茨城地区は、情報の共有化のために茨城地区「東日本大震災」情報センターを設置しました。

大宮教会員松下氏(設計士)より、建物調査(簡易建物診断)の報告を受けました。多くの教会で予想以上の被害を受けていることがわかりました。教区では、今回の「東日本大震災」(余震を含めて)による各教会・伝道所の被災状況を把握するとともに、今後の支援をさせていただくために、教区内全教会・伝道所を対象に、簡易建物診断をさせていただくこととなりました。これは目視による診断です。初回のみ、教区の責任において診断をさせていただきます。支援委員会のメンバーである地区長・地区委員長が窓口となります。お問い合わせください。詳細については、あらためて、書面においてご連絡させていただきます。

なお、既に建物調査を受けられた教会・伝道所に対して、4月27日午後2時より、大宮教会において説明会(相談会)を行います。該当する教会・伝道所にはご案内をさせていただきます。

ゴールデンウィークをはじめとし、今後、被災地にボランティア活動に行かれる方で、教会関連での奉仕を希望される方は、奥羽教区事務所(019-622-5770)、東北教区被災者支援センター(022-222-0990)に事前にご確認ください。直接、現地の教会に問い合わせることは、極力控えるようにしてください。現場で生活をする方々の負担を抑えるためです。ご理解ください。

大洗ベツレヘム教会を、飯塚統括主任、久保田委員、小林牧師で16日に問案いたします。

○東日本大震災救援支援募金報告(教区内)

2011年4月15日現在

東中通	20,000円	西川口	30,000円	長岡	5,000円
太田八幡	60,000円	西上尾	10,000円	高崎南	26,016円
渋川	27,200円	東所沢	30,000円	水海道	40,000円
水戸自由が丘	26,500円	毛呂	30,000円	宇都宮上町	93,016円
鹿島	75,050円	秩父	6,500円	竜ヶ崎幼稚園	50,000円
竜ヶ崎	200,000円	本庄	6,500円	岡田公江(上尾合同)	
神の愛キリスト	11,000円	新津	10,000円		7,430円
浦和別所	100,000円	所沢みくに	100,000円	小計	1,034,212円
聖学院 婦人の集い		立岩秀彦	10,000円	累計	1,975,905円
	50,000円	東新潟	10,000円		(教会・伝道所省略)

多くの支援を心より感謝いたします。目標額300万円の内、2/3を達成することができました。他教区よりも多くの献金を頂いております。なお、振り込みの場合報告掲載までの時差が生じる場合があります。ご了承ください。

救援支援募金の振込先は、郵便振替 **00140-3-67727 名義 日本基督教団関東教区事務所**です。必ず、「支援募金」「地震募金」と通信欄にお書きください。

東日本大震災 奥羽教区ボランティア受け入れの流れ

11.03.16 常任常置委員会承認

